

みなさん、こんにちは、Learn Japanese with Noriko Season 2。今日も、またNetflixの話なんですね、ごめんなさい。私は2月入院をして、そのあと退院して、しばらく仕事を休んで、家でゆっくり休んでいたんですね。ほとんどの時間はベッドの中で過ごして、本を読んだり、Netflixをもちろん見たり。で、Netflixも、いつも韓国ドラマを見ているから、何か全然違うドラマを見てみよう。しかも、ね、体も痛い、まあ、ちょっと薬もよく飲んでいて頭ははっきり働いていない。何か軽いドラマ、何も考えなくても、さらっと見られる、どうでもいいドラマを見ようと思って選んだのが「Emily in Paris」、日本語のタイトルは「エミリー、パリへ行く」、これを見ました。一気に、ベッドの中でSeason 1と2を見たんですが、私は全然共感できなかったという話をします。

面白いんですよ。ちょっとコメディっぽくて、全然、フランス語もできない、シカゴに住んでいた主人公のエミリーが、ま、アメリカ人、これがポイントです。アメリカ人のエミリーが、マーケティングは、マーケティングの仕事は多分上手なんです。とてもスキルがある、才能がある、その若いエミリーがフランス語はできない状態で、ある日突然パリの会社に行くわけですね。

そして、そこで、いろいろな文化のミスコミュニケーション、いろいろな問題が出てくるんです。まあ、それが面白おかしく、描かれていて、それは面白い、面白い。そこだけ面白い。でもそれ以外は全然共感できませんでした。これ、みなさんの意見を聞きたいんですね。日本では結構人気だと聞いたんだけど、これのどこが人気なのか、私には分からない。辛口、辛口評価です、今日は。

なぜならね、エミリーはせっかくパリに行ったのに、フランス語を学ぼうとしないんです。私は本当にその態度が許せない。まあ、許せないって言ったらきついけど、だってさ、その国に行ったら、ね、まあ、もちろん仕事が忙しくて、仕事では英語を使ってるかもしれないけれども、でもその国に行ったら、その国の言葉を勉強したほうがいいじゃない？みなさん、どう思いますか。私はそう思いますよ。エミリーは語学学校に通い始めるんですよ。でも全然、全然勉強してないんです。上達していない。同じビギナーのコースを二回繰り返さなければいけなかったぐらい、全然上達しないんです。勉強しない、やる気がないんですよ。私はまずそこに、ものすごくがっかりしました。

あと、もう一つは、まあ、そのアメリカ人のビジネスのやり方と、そのマーケティングのね、バリバリの会社のやり方と、フランスのオフィスのやり方がずいぶん違うんですね。それが面白おかしく描かれているんだけど、やっぱり、あくまでも主人公はアメリカ人のエミリーだから、エミリーの立場でしか見られていないんですよ。これは多分、フランス人の人が見たら、ちょっと気分を害するんじゃないっていうか、ものすごくエミリーに腹を立てるというか、このストーリー自体、納得できないんじゃないかと思うぐらい、なんか、フランスをバカにしているような描き方、じゃないかと私は思いました。これが二つ目。

そして、最後はエミリーのプライベートな生活です。エミリーは、これネタバレよ、思い切りネタバレなんですけど、ね、あの、アパートの一階下に住んでいる恰好いいフランス人の男の子を好きになるんですね。まあ、男の子というか、男性、好きになるんです。で、後々出てくるんですが、この恰好いい男性はエミリーの初めてのフランス人の友達の彼氏だったんです。だから、彼氏だから、ね、違う、友達の彼氏、友達の彼氏だから、その彼氏を好きに

なってはダメだと考えてあきらめようとするんですね。はい、それはもちろんいいでしょう。あきらめてくださいよ。でも一線を越えてしまうんです。エミリーは、この友達の彼氏と寝てしまうんですね。はい、セックスするんです。

そこから、そこから、私は、あの、このストーリーに納得できなかった。私の、これは、私の個人的な考え方だけど、エミリーが全然正直じゃないんですね。ええ、友達の彼氏だからあきらめなきゃという割には、行動が、やっていることが違うし。で、本当に正直に、ね、その彼と寝てしまった後に、秘密にしているんです、ずっと。なかったことにしようとしている。でもこの態度は私は人間としてダメだと思って、ね、やっぱり友達を大切にしたいなら、または、もう友達を裏切るようなことをしたんだったら、正直に告白するべきだと思うんですね。でも最後の最後まで告白しないです、エミリーは。すごい中途半端なんですよ。私はこんな中途半端な人が嫌いです。

今日はかなり厳しい辛口コメント。なので、エミリーが好きじゃなかった。はい、そうなんです。共感できなかった理由は、エミリーが嫌い。主人公のエミリーが嫌いなんです。私。好きになれなかったということで、あの、笑える場面はたくさんあったけれども、Season 2の最後の最後まで主人公に共感できなかったという悲しい私でした。みなさんは共感できたのかなあ。

もしかしたら、ま、エミリーと同じような年代の若い女性だったら共感できたのかもしれませんが。私はもう古いのかなあ。いや、それでも、それでも、消化不良ですね、消化不良、なんか、全然納得ができないストーリー展開でした。悲しい、悲しいです。

あ、あと、もう一個ね。あの、エミリーはその下の階の男の人、その友達の彼氏がずっと好きなのに、いろんな人と付き合っていくわけですよ。気持ちを紛らわせるために。で、その中の一人がイギリス人の銀行マン。この銀行マン、いい人なんですよ。私すごく共感できる、この銀行マン、イギリス人。ね、そのエミリーと付き合い始めるんだけど、ね、銀行マンは、もう明らかにエミリーのことが好きになって行くのに、エミリーはやっぱり中途半端なんですよ。この銀行マンのことが好きと言いつつ、あの、隣の、隣の、下のフランス人のことを忘れられない、忘れられない。やっぱり中途半端な、決断力がないエミリーが嫌いでした。はい、そんな話。でも、まあね、面白いとは思いますが。ということでみなさん、みなさんの意見を聞きたいですね。「Emily in Paris」、日本語のタイトルは「エミリー、パリへ行く」みなさんはどう思いましたか。今日はここまでです。